

千種区との「縁

千種区長 矢野克典

私は千種区とこれまでいろいろな縁をいただいておりますので、そのことを徒然なるままに。

最初のご縁は小学校二年生の時に引越しをして千種区民になったことです。四年生の二月に千種区から分区して名東区になり、三年弱という短い区民生活でしたが、千種図書館はよく利用していました。

小学校三年生の時には、授業に書道が入り、母曰く「ミミズが這いずったような」私の字を「まし」にするべく、母の高校の恩師が開いていた書道教室に毎週月曜日、池下駅から歩いて通っていました。先生から「形を整えることに難があるが、筆遣いは素晴らしい」と褒められ、比較的長く習い続けたのですが、相変わらず私が書く字は形に難あり、です。



名古屋市役所に就職して水道局に配属されたこともご縁の一つ。千種区宮の腰町にある鍋屋上野浄水場では、名古屋水道発祥の当時から、名古屋水道発祥の当時からと同じく、薬品を使わず微生物で浄水処理をする緩速ろ過方式を今でも見ることが出来ます。係長の頃、ここで開催された通水開始九十周年記念式典で、若手職員たちと作製したスライドショーを披露しましたが、本番でスライドと音が合わず、冷や汗を流しながらその場を調整したことや、局長から「手作り感が伝わってよい」と慰められた？ことを覚えています。この度、新たにご縁をいただき千種区長を拝命し、着任いたしました。千種さわやかクラブの会員の皆さま、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

老人会の行事に参加して

東山学区清住クラブ会員 田中曾子

私の町内には老人会がなく活動している町内会をうらやましく思っていました。ある時、他の町内の老人会に入会できるとの情報が有り、学区老人クラブ連合会会長に相談し入会することができました。清住クラブの定例会では、健康管理や詐欺等会長のわかりやすい講話に参加者は静かに耳を傾けました。また、講演会やクリスマス会その他、年数回のサロン会、食事会では、男性も女性も様々な話題で盛り上がりました。私の様な独り暮らしの高齢者は、家で黙々とお箸を口に運ぶだけ。同年代の皆さんとおしゃべりしながらいただく食事は、お味も一味違っておいしいです。入会して初めて「区老連」の存在を知りました。単位老人クラブではなく学区として行事に参加するため、自分の学区の方々とも、より一層親しくなり、お付き合いの輪が広がっていききました。「区老連」で初めて金太郎温泉から金沢への一泊旅行は目的地に到着して温泉や食事の前に、会議室でしっかりと「研修」があり、「研修旅行」であることを再認識いたしました。夜は大広間で大宴会！区老連会長のあいさつの後、副会長の恒例の乾杯儀式的後はカラオケが始まりました。

聴くのは好き、歌うのは苦手な私を知って知らないでか、デュエットの曲の相手に私の名前を書いた人がいて、恥ずかしくて食卓の下に潜り込んで抵抗。今、思い出しでも大人のげなかつたと反省です。町内の老人会や区老連も、高齢者が元気になる楽しい会だと思います。また、力作ぞろいの「作品展」も然り！毎回私も足を運び「よし！私も次回は何か出品しよう！」と刺激を受けて挑戦してみたくありません。



7月カローリング大会

盛りだくさんな老人会の行事に参加するにつれ生きる張り合いが出てきた私ですが、楽しければ楽しいほど悔やまれるのは、夫がいるときに夫婦で入会していたら、楽しさも倍増していたらどうだろう。これからは前向きに生き、老人会の行事には常に参加できるように、心身ともに鍛えていこうと、「やる気」満々の私です。一日も早いコロナの終息と、老人会の皆さまと再会できまことを祈りつつ……。